

# 子どもの嘔吐・げり どう対応すればいい？

---

株式会社日立製作所 日立総合病院  
看護科 小児救急看護認定看護師

# 嘔吐・下痢

---



# 嘔吐、下痢

---

## 緊急性のある嘔吐、下痢

- お腹が張っている
- 赤色や緑色の物を吐いた
- 便に血液が混ざっている
- くちびるが乾燥している
- 泣いても涙が出ない
- 目が落ちくぼんでいる
- 12時間以上尿が出ない



# 嘔吐しやすい理由（1歳未満）

## 乳児の胃はとっくり型

乳児の胃は縦に長く、  
とっくりのような形をしている  
食道と胃の境目の筋肉が未発達のため  
嘔吐しやすい



# 嘔吐

☐ 目がとろんとして、ぐったりしている

当てはまる

声かけへの反応が鈍ければ救急車

- ☐ 顔色が悪い
- ☐ 苦しそうな呼吸
- ☐ 噴水状に吐く
- ☐ 吐物に赤い物や緑色のものが混ざっている
- ☐ 半日おしっこがでない
- ☐ 吐く前に頭やお腹をぶつけた
- ☐ 頭やお腹を痛がる
- ☐ 激しく泣く時間と泣き止む時間を繰り返す

1つ以上当てはまる

救急外来受診

1つも当てはまらない

かかりつけ医  
or  
家でゆっくり

# 経口補水療法

---

嘔吐後、30分は飲食させずにお腹を休ませる

嘔吐がなければ、スプーン1杯の水分（経口補水液）から始めて

5分おきにスプーン1杯分ずつ増量して飲ませる

この方法で1時間以上たっても吐かなければ摂取量を増やしていく

軽度脱水の場合、  
りんごジュースを  
2倍に薄めたものでも  
OK



# 経口補水液はどのくらい飲めば良い？

## 経口補水液摂取の目安

| 体重     | 5分毎量    | 1時間量        |
|--------|---------|-------------|
| 10kgまで | 5～20ml  | 120～240ml   |
| 20kgまで | 15～30ml | 180～360ml   |
| 30kgまで | 20～40ml | 240ml～480ml |

母乳やミルクも  
OK



# 食事の再開

スプーン1杯ずつ  
増やして水分摂取



嘔吐なし

うどんやお粥などの  
消化のよい物



嘔吐なし

普段の食事へ



4時間くらい様子見る

脂っぽい物は避ける

# 下痢

- ☐ 血便がある
- ☐ 1日5回以上、下痢がある
- ☐ 38℃以上の熱がある
- ☐ 水分をうけつけない
- ☐ 活気がなく、ぐったりしている
- ☐ 意識がもうろうとしている
- ☐ 目が落ちくぼんだり、くちびるや口の中が乾燥している
- ☐ 激しいお腹の痛み
- ☐ 半日程度おしっこがでない

1つ以上当てはまる

救急外来受診

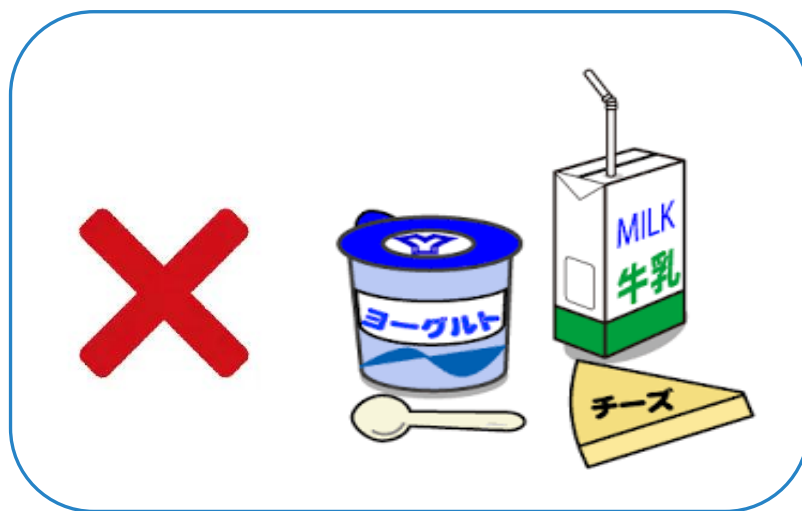
1つも当てはまらない

かかりつけ医or家でゆっくり

# 対応方法

---

- 胃腸を休めるために、消化の良いものを食べさせる
- 乳製品や柑橘類は避ける
- 母乳やミルクは普段通り飲ませてOK



# 対応方法

---

- お尻がかぶれないように、**保清・保湿**をする  
**洗いすぎはダメ**  
**1日1~2回**程度石鹸の泡で優しく洗う  
洗った後は**ベビーオイル**や**ワセリン**を塗って  
便が直接皮膚に付かないようにする
- 便がとれない時はベビーオイルを浸み込ませた  
コットンで優しく拭き取る
- 便に触れたら、しっかり手洗いする



## 下痢は体内の病原体を追い出す身体の防御反応

下痢以外の症状がなく元気がある場合は、  
あわてず自宅で様子を見ましょう  
嘔吐や下痢を繰り返す場合は、  
水分だけでなく塩分も必要です  
経口補水液を利用して体内の塩分を補いましょう



# 注意すること

---

- 吐物や便を処理したら、流水と石鹸でよく手を洗って家庭内感染を予防する
- 手洗い前は、特に顔（目、口）には触らない



# 消毒方法

## 吐物や排便後の消毒に使用

①0.1%の塩素系漂白剤を作成する

＊水500ml ＋ 家庭用塩素系漂白剤10ml程度

②汚物の上に新聞紙やペーパータオルをかぶせ

汚物が飛び散らないようにふき取る

③汚物があつたところをペーパータオルなどに①の消毒液を  
含ませてふき取る



# 衣類の消毒

＊汚物は取り除いておく

色柄ものでない場合（0.02%の消毒液）

- ①水2L＋塩素系漂白剤10mlの消毒液を作成
- ②消毒液に衣類を入れて30分～1時間浸す
- ③衣類をとりだし、すすいでから通常通り洗濯する

色柄ものの場合

- ①85℃以上の熱湯を準備
- ②2分以上浸す
- ③衣類をとりだし、通常通り洗濯へ

ドアノブ、手すり等の  
消毒にも  
使用できる



子どもの元気を示す  
3つのサインとは？

---



大切なことは・・・

寝る



遊ぶ



食べる



3つができているか？

「寝る・遊ぶ・食べる」ができていれば  
あわてて受診しなくても大丈夫

お家でゆっくり休むことも  
大切な治療です

